



マスターズ通信

第 23 号

小平マスターズスキークラブ

会長 森屋建男

編集 森屋建男

2014年11月19日発行

雪を楽しむ

森屋 建男



都連会長の猪谷氏が1956年コルチナダンペッツオのスラロームで日本人初の冬季オリンピックで2位になり、日章旗が掲げられた話を若い人に話しても知らないという。最近までIOC副会長をやっていたことも覚えておいて欲しいです。

では、植木毅氏をご存知ですか？あまり知らないと思います。1968年にシャモニーのモンブラン北壁を登り、山頂からスキー滑降した日本人初、世界で4人目。また1970年には北米最高峰のマッキンリー山頂から世界で初めて滑降した人です。フランスのシャモニーやスイスでは今でも有名だそうです。1964年の第1回のデモンストレーターにもなっています。

私は今年シャモニーへ滑りに行って、快晴で周辺から毎日モンブランを眺めることができました。山頂は遥か遠くに見えます。そこは高く眺める山です。そんな西ヨーロッパ最高峰の山を、植木毅氏が登って、山頂から滑ったのは50年近く前のこと。知らない人が多いはず。シャモニーには今、息子さんやフロリアンというお孫さんが住んでいるようです。

私がその植木毅氏に習ったのは彼が日本アルペンスキー学校を1965年に開校してから間もなくしたころの正月です。翌年も受け、その印象が強くて今でも思い出します。その後は50才近くまで自己流でやっていたので、特に印象が強いのかもかもしれません。それは楽しんで滑るのが原点。深雪には何度となく連れて行かれました。

深雪の先の川に向かって滑り下り、川に落ちないように、上手く止まれないなら雪まみれに転び、緩斜面では生徒グループ全員で股くぐり。校長の彼は生徒を肩車などして滑りました。

「スキーは雪を楽しむ遊び」を体験しました。彼は現在77才、杉ノ原で校長として元気に滑っているようです。

モンブランを滑降する植木毅



エギ・ユ・デュ・ミディや氷河
奥がモンブラン 右下にはシャモニー村



技術がよりあればスキーの楽しさは当然より広がります。ユーチューブで「銀嶺の王者」を検索してみてください。トニーザイラーが蔵王で滑っている映像が見られます。モンスター樹氷の間を自由自在に滑るシーンは感動的で、アクロバティックスキーには昔姿の子供たちがはしゃいでいます。そこまでは滑れなくても雪の楽しみ方はいろいろあると思います。

その昔、浦松佐美太郎というヨーロッパアルプスでアイガー東山稜下部ルートを開拓し、ウェッターホルン西山稜初登攀などで活躍し、またマッターホルンを初登頂した有名なエドワード・ウインパーの登攀記を訳している方は、私の生まれる前の年にこう書いています。

『スキーを揃えてスタートを切れば、無我の境地である。風を捲き起して、飛び下ってゆく壮快さは、見ていても小気味がいい。立ち止まって滑り下った跡を振り返る。ただ一線、雪の上にまっすぐに描き出されたスキーの跡は、幾たび眺めても美しかろう。なんの誇張もなく、なんの飾り気もない一本の線ではあるが、力強い鮮やかな美しさである。右に左に幾つかの曲線を重ねて描き出されたスラロームの跡は、小面憎いほどの美しさを持っているのではない。しかしこれは、言い換えれば、雪の作り出す不思議さだ。雪の持つ不思議さを知り出したのは、スキーが始められてからではなかろうか。雪の魅惑を目に感じ、手に触れて知り、そしてそれに深く引き入れられてゆくようになったのは、このスキーを通じてであつたろう。』

私が雪やスキーを味わう楽しみはあと何年できるだろうか・・・しみじみ思う歳になった。



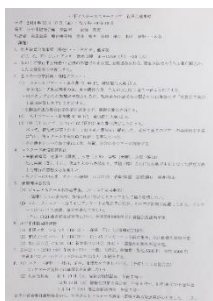
小池 一弘



真夜中の2時、突然の電話。義父が心筋梗塞で倒れ緊急入院、手術。津山の叔父からの連絡であった。遠路の介護の始まりであった。

役員＝改選が迫る中、もう一期継続をと打診されたが、十全の働きは無理、辞退させて頂いた。ネットもパソコンも使えない至らぬ幹事の惑乱として御有恕下さい。

人に歴史あり、そしてスキークラブにも。我がマスターズも昨年25周年を迎え、記念事業も行う。小平市スキー連盟も馬場・小川両会長が引退し森屋会長が兼務。人生の栄枯盛衰を実感出来る歳になり、懐旧の情に浸るのは華やかなりし頃。毎回のように参加していた市民スクールはシーズン4回、参加者が多く、キャンセル待ちもあった。マスターズの会員数も多く皆若く元気。多士済々でエピソードに事欠かない。幹事の御苦勞を思い、感謝とともに畏敬の念を抱く。水茎も鮮やかな幹事連絡のお手紙に感激したのもこの頃。



役員会は毎月1回(8月は休み)。会員の熟年化(皆さん紳士・淑女)もあり、激論・喫緊の案件もなく、和気あいあい楽しい2時間であった。書記局(原山さん)作成の議案書をもとに、幹事が交代で記録を取り、議事録を作成。(某国の内閣は議事録もない。)翌月全員で再点検し過誤を訂正の上、ファイル。議事録は秘密にされることなく、誰もが閲覧できる。極めて民主的で賞賛に値する。議案で何度か討議されたものは、キャンセル料の額と期限。従来通りで落ち着いたが、ツアーの参

役員は輪番で議事を記録

加者が減少する中、ツアー成立を左右する大事になりつつある。

ツアーの幹事は2回。ともに八方ツアー。初回のツアーは忘れ難い。荒天の中、全員無事に小平に帰着することのみを考えていた。(最悪の事態への対応を考えておくべし＝とは私自身の反省。)幹事の体験は日常生活の中でスキーへの関心を些少とも高めたようである。NHKクローズアップ現代「高齢ドライバーの事故」を見たが、事故原因には自己過信と運動能力の低下(本人の自覚は乏しい)にあるという。

(私見です。)以後、慎重な運転とスキーも丁寧な滑りを心掛けている。十年来の居合の師範は「上達の秘訣は練習の量と質である。」と言われる。スキーは何十年と滑ってきたが、一向に上達しない。我流の滑りの結果である。技量を高めることに転換した次第。「スキーには一発逆転はない。」というある人の言は私へのエール。

性別・前歴・職歴を一切問わず、スキー大好きな人間が集まるマスターズ。素晴らしい会と思う。スキー人口の減少する中、如何に長く維持するか。ツアーの帰路の車中での森屋会長挨拶。「現有のメンバーが如何に長く元気に滑るかがポイント百歳まで元気に頑張ろう！」同感です。健康寿命にも触れられていたが、「2013年には男性71.19歳(80.21歳)、

女性74.14歳(86.61歳)。()内は平均寿命。初代会長の岩田さんは、スキーの楽しみのために食事・運動と並々ならぬ努力をされていたが、現会員の皆さんも同断。テニス・水泳・ゴルフ・ダンス・カラオケ等々。若々しく元気です。

「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ。」の格言に背を押され、臆して就いた幹事も思わぬ実りをもたらしてくれたようである。謝辞と共に擱筆。



丸金さんを出発しまぁ～す



役員はツアーを必ず一つは担当、私は八方、無事帰れることを願う



45年間付き合いが続いている3人の友人の紹介をします。

3人との関わりは今から45年前の昭和45年に同じ大学の理工学部土木工学科に入学したときから始まります。

入学年度は同じですが卒業年度は皆それぞれ違います。まともに4年で卒業した者はいません。(つまり、皆4年で卒業できなかったということです。)

あれから45年間、進む方向は違いましたが、スキーへ行ったり、石垣島の海でシュノーケルしたり、一時期パラグライダーに凝ったりとよくも関係が続いているものだと自分でも感心しています。

毎年5月連休の丸沼高原スキー場(数年前までは天神平)→水上のラフティング→みつまたかぐら和田小屋泊の2泊3日は欠かせません。早速紹介します。

1) 田神史郎

昨年マスターズの有志で行ったコロラドのベイルと今年の八方ツアーに会友として参加したのでご存知の方もいると思います。

出身地は東京で卒業後は都庁に入り、3年前に60歳の定年を迎えて、1年間は再任用として残っていたのですが2年前に定年退職して千葉に住んでいます。

学生時代にヨーロッパに半年間放浪に出かけて皿洗いをしながら各地を転々としたとのことです。その成果は、前出のベイルでほんの少しだけ垣間見えました。(本人は錆びついた英語といていたが、こちらは錆も、真鍮の区別もつきませんが)

仕事で小笠原と神津島にそれぞれ4年間赴任していたのでシュノーケルに対しても趣味が合います。ショートスキーをやっているのだから板の真ん中に乗るのはうまい。平日は和合が休めないので一人で四季倶楽部旅のナイスミドルツアーに参加したり、新幹線の日帰りツアーに行っているようです。今年もマスターズツアーに誘っています。

2) 石本和男

写真の背の高いおやじです。焼津出身で卒業後は民間の施工会社に就職して現在も地元で現場監督しています。やはり、学生時代にヨーロッパに一年近く放浪に出かけているが、こちらは路上で針金細工を売ってアブナイ生活をしていたようです。



2011年5月 和田小屋 石本 田神の友人 私 田神



2012年サホロ 田神 和合 図師 石本

東京のツアーにはなかなか参加できないので、静岡県のスキーツアーに行っているようです。

趣味は水泳とスキーですが、スキーは力で滑るタイプです。

3) 図師義幸

出身地は神奈川県で、中学・高校時代は陸上部に所属していてリレーで中学全国6位になったというが、今の体型からは想像すらできません。卒業後は設計コンサルタント会社に就職して水商売(河川洪水解析)一筋です。現在は技師長として

週 2〜3 日出社して、週 2〜3 日は神奈川県 of 歩け歩け、残りはコナミスポーツジムで汗を流しているということだが、体型がちっとも変わらないのが不思議です。

毎年一緒にスキーには同行しますが、スキーはしません。学生時代に北海道でこけて膝の靱帯を切ってから現場からは遠ざかってゲレンデのレストランでいつも 1 人飲んでいます。

昨年の富良野スキーでは 2 日間も朝から旭山動物園に行っていました。(何か人間不信になったことあるのかと聞いたが答えませんでした)

4) 最後に和合泰志

出身地は御嶽山の噴火で話題の信州木曽町です。大学の夏休みにあの御岳頂上山荘で 40 日間アルバイトをしていたので人ごととは思われません。スキーは小学校の低学年からエッジのない板スキーを履いていた、といっても、今の足前では誰も信用してくれません。

中学〜高校は軟式テニスに明け暮れていました。大学卒業後は今の設計コンサルタント会社に就職して現在に至っています。

仕事は土木設計の「何でも屋」で、現在は主に島(小笠原、八丈島、青ヶ島、大島、神津島)の仕事をしています。

小笠原には年 3 回も行っているのですが、昨年シーカヤックで遊んでいる所を“るるぶ情報誌”に載ってしまいました。(会社には言えませんが)

水泳は小平水泳教室に 11 年間(水曜日の夜 7 時〜9 時)通いました。最初の指導員は元マスターズの野方さんで、「クラス分けするから泳いでみて」といわれて、「全く泳げません」といったことを覚えています。それから、館山の遠泳に数回参加して萩野さんと小林さんと知り合いました。

フルタイム(朝 9 時から夜 9 時まで)で仕事しているのでマスターズツアーには参加できないため、職場のある調布市のスキーツアーによく出かけます。それも金曜日の夜 8 時まで仕事して 9 時調布発のバスに乗り、帰りは日曜日の夜という強行スケジュールですが。

これからの目標はマスターズ全ツアーに参加することです。

「5 月のスキーのこと」

例年の 5 月スキーツアーを簡単に紹介します。

「1 日目」

朝 6 時 30 分に東京駅八重洲のブックセンター脇に集合(石本は夜行バスで 2 時間前に着いている)して田神の車に乗り込み出発。早速、運転している田神には悪いが後ろの席で図師と静かにカンビールの蓋を開けている。途中のサービスエリアで朝飯を掛け込み 9 時前に丸沼高原スキー場に到着。早速 3 人で滑りまくるが図師はレストランに直行。昼飯後 2〜3 本滑ってから水上温泉「湯の陣」向かう。

夕方 4 時頃宿に到着して、部屋で大いに飲んで温泉へ。6 時ごろからバイキングで大いに飲んでからカラ



2005 年 静岡県河津町 飛び立つ！



2011 年 石垣島シュノーケルン
私の腹が気になる 石本 田神



水上で いつものラフティング

オケルームへ。他の客が集まる前に大いに歌う。(今年は他の客は覗いただけで入ってこなかったので3時間大いに歌った) また部屋で飲んで就寝。

「2日目」

朝飯後9時にラフティング集合場所に行き、着替えてから川下りをする。川の水量によって出発場所は異なるが、大体1時間半位乗って(漕いで)いる。

例年誰かが川に落ちるが今年は必死でつかまっていたセーフでした。数年前にはボートが転覆

して全員川に投げ出されて他のボートに助

サングラスが私 隣に田神 後ろに図師 石本

けてもらったことがあるが、このスリルはやめられない。

午後1時頃上がって近くのレストランで昼飯を食べて、急いで「みつまたかぐら」へ。スキーをしない図師でも和田小屋へ行くには途中滑るところがあるので、レンタルスキーで出発。

4時前に和田小屋に到着して2～3本滑る。その後部屋(といっても通路側はカーテン)で大いに飲んで、風呂に入って、夕飯。また部屋で大いに飲んで就寝。

「3日目」

7時に朝飯を食べてから待ちに待ったファーストトラックで誰もいないゲレンデへ。4～5本滑るとリフトで上がってくる人がいて次第にゲレンデが荒れてくるため田代に非難。

昼頃和田小屋で食事して帰路するが、図師は和田小屋からゴンドラで帰る。

ゴンドラ乗り場で図師と合流してスキーで帰路。帰りは飯田橋で解散となる。

いつまでこの関係が続くか分からないが、一年でも長く4人一緒に大いに飲んで大いに歌いたいものと切に願っている。



2008年5月 かぐらみつまた 石本 私 田神 図師

2013年12月 富良野
大学卒業後旭川市役所に勤めた友人と彼は珍しく4年で卒業しています



スキーと私

乗越 登志子



私が初めてスキーを履いたのは、大学1年生の3月、白馬八方の咲花ゲレンデです。高校の同期生で、私と同じ大学に入学した男子学生のうち2人がスキークラブ（部員は男子のみ）に入部していました。スキークラブは毎年1月～3月にスキーツアーを企画して参加者を募っていました。「スキー教えるから参加せえへんか？」と誘われたのがきっかけで、始めました。

最初は貸スキーで参加しましたが、その楽しさに獲りつかれて、2回目に参加するときには、スキー板、靴、ストック、ウェアなど全部買い揃えました。他の大学の学生（主に女子大生）も参加していて大勢で、大阪駅から信濃大町まで夜行列車に揺られて、おしりがとても痛かったけど、楽しいものでした。宿は民宿で、部屋の真ん中に掘りごたつがあり、それを中心に放射状にせんべい布団を敷いて、6～7人が一部屋に寝ました。お世話になった対岳館も今は立派なホテルになっています。4年間、1シーズンに2～3回参加して、八方、梅池、南小谷、池ノ平、関燕、赤倉などに連れて行ってもらいました。あの頃のゲレンデには若大将（加山雄三）の歌が流れていました。♪君の～瞳は 星と～輝き～♪なんてね。少しずつ上達して、斜滑降ができるようになり、4年生の3月頃には「ウェーデルンもどき」もできるようになっていましたが、もう卒業。残念！どこかのスクールでレッスンを続けていたら若いころに1級も夢ではなかったかも。でも、あのころの下地があったからこそ、50歳すぎてからの再出発も案外たやすくできたのだと思います。私に初めてスキーを教えてくれたスキー部の彼らに心から感謝です。



学生のころの私

私は73番です



何が今と一番変わっているでしょうね？

そして、16年前になりますか、小平市報のスキースクール参加者募集の記事を見つけて、「私、スキースクールに参加してみようかしら」とつぶやいた時、「うん、やってみようか」という夫の言葉にびっくり！スキーの経験のない夫からそんな言葉が出るなんて思ってもみなかったことでした。音楽、美術鑑賞など二人の共通の趣味はありましたが、スポーツでも夫婦共通の趣味を持とうと思ったようです。ありがとう。

以来、市のスキースクールにお世話になり、やがてマスターズスキークラブに入会、素敵な皆さんと和やかに、大好きなスキーを夫婦で楽しませていただいています。

それにしても、夫は55歳で初めてスキーをしました。私は、その勇気と努力に感心しています。でも、スピードを興じてしまう気持ちはわかりますが、もう少し基礎訓練を丁寧にして、理想的なフォームを身につけるよう心がければ、もっとかっこよく、楽に滑れるようになると思うのですが・・・。（私もえらそうなことは言えませんが）



第64回 奈良県民体育大会スキー競技会 2014.1.19

第68回 八尾尾根リーゼン大会 2014年3月6-7日

2014.3.7 八尾尾根リーゼン大会

ところで、大学時代、私にスキーの手ほどきをしてくれたスキー部員の一人、今なお現役の競技スキーヤーとして活躍中のT氏(奈良県在住)は、今年の1月、奈良県スキー選手権大会シニア部門で優勝。奈良県大会(兼国体予選)では、34才以上ひとくくりで40名中27位、その他いろいろな競技会に出場して活躍しています。彼は、私の高校同期生のレジェンドとして皆が誇りにしています。マスターズスキークラブでは村山さんが競技スキーヤーとしてご活躍ですね。素晴らしいですね。私は、娘の出産や孫の世話で、たびたび中断させられますが、焦らず、細く長く、できる時に楽しもうと思っています。またご一緒できる時は、どうぞよろしく。今年もそろそろシーズンが近づいてきました。さあ元気で、怪我しないように気を付けて楽しみましょう。シーハイル!

楽しい!バックカントリーツアー

村山 真三



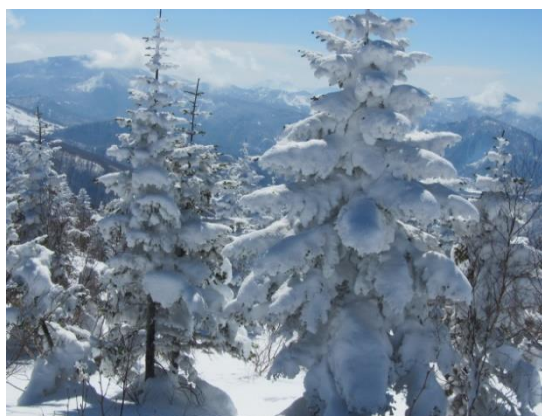
志賀・横手山～草津温泉

パウダーのツリーランはめっぽう楽しいぞ
バックカントリーツアーのクラシックコース

きれいに圧雪されたゲレンデスキーに飽きたらオフピステに飛び出そう! パウダーの滑りや樹木の間を滑るツリーランなどを体験すると、新しいスキーの魅力に心を奪われるに違いない。ゲレンデで学習した滑りを活用して、スノースポーツの広がりを実感しスキーを存分に楽しみたい。

今回は2014年2月に実施した東京都スキー指導者協会(SIT)のバックカントリーツアーを紹介します。

- 実施日: 2014年2月21日(土) 8:30~17:30
- ルート: 志賀高原・蓮池→熊の湯→横手山山頂→芳が平→草津温泉→志賀蓮池
- 参加者: SIT会員16名+その他一般参加者24名
- 企画: 志賀高原観光協会
- 実施: 長野電鉄㈱



8:30 志賀蓮池にある志賀高原観光協会に集合。

点呼後、ツアー上の諸注意を受け、バスに乗車し熊の湯スキー場へ向かう。

9:30 リフトを乗り継ぎスタート地点の横手山山頂（2304m）へ。山頂リフト手前で集合写真を撮る。

40人は圧巻。

横手山ヒュッテのパンセットをザックに詰め、装備を点検しウオームアップ後、いよいよスタート。

10:00 スタート。

パウダースノーでの浮遊感が楽しめるFATスキーがお奨め。

ストックもワイドバスケットが有効です。

バックパックに食糧、水を詰めて出発。

今回はガイドとカメラマンが5名付くので安心のツアーだが荒天時やガスがかかって視界不良の時などは中止する勇気も必要。単独で出かけることも厳禁です。

こんなツリーの間を縫って滑るシーンもあり、楽しさ抜群。





**頑張っている
私です！**

パウダーのツリーランを満喫する私。
転倒すると身体が沈み、起き上がるのが大変！
前走者との間隔を一定に保持しないと衝突の危険があるので要注意。
更に重要なのは、深雪の下の地形が不明なので
前走者の身体の浮き沈みをしっかりと目で捉えて、
予測しながら滑り、転倒を避けること。



11:00 芳ヶ平ヒュッテに到着。

グリーンシーズンの芳ヶ平は湿地で花も楽しめるので訪れるハイカーや登山者も多いが、冬の訪問者はバックカントリーを楽しむ者だけ。

ヒュッテにはハスキー犬などの大型犬が数匹いて、人が来ると嬉しいのか飛びついてくる。ワンワンとかなり喧しい。



12:00 一本松広場で昼食。

シャベルでテーブルを作り日本最高所で焼いた横手山ヒュッテのパンセットを賞味する。おにぎりなどの米類は水分が多く凍ってしまうこともあり持参を避けるのが賢明。観光協会が提供してくれたワインに全員感動。雪上でのワインの味は最高と皆さんから賛辞。

13:00 草津温泉めざし下山開始。

蟻の門渡りと呼ばれるやっと一人通れるような狭い尾根や登山道の大きく深く抉れた狭いコースを注意深く滑る。

14:30 草津高原ゴルフ場下部に到着。待機している長野電鉄のバスに乗り込み、杉乃井ホテルの温泉に向かう。冷えた手足を存分に伸ばし、リフレッシュ。

15:30 温泉を出てバスに戻ると志賀高原産の地ビールが待っている。温泉で暖まった身体に冷たいビールの喉ごしは格別と大好評。車内のジャンケン大会でウェストポーチなどをゲットする抽選会も開催された。

17:30 今回は一人の怪我人もなく無事に終了。
出発地の志賀・蓮池に帰着し来年の再会を約し解散。

江戸・東京の名庭園を歩くシリーズ その①

村山 真三

大名や豪商の暮らしの一部が分る！

江戸後期に各大名が競って造園し今も残る庭園や豪商が造営した名庭園など、東京都が名勝指定した9つの庭園を歩けば庭の美しさが堪能できるほか、遠い昔に思いを馳せれば充実した時間を過ごすことができる。

都営の名庭園とは下記の9庭園です。

- 1) 清澄庭園 2) 旧岩崎邸庭園 3) 小石川後楽園 4) 六義園 5) 旧古河邸庭園
6) 芝離宮 7) 浜離宮 8) 殿ヶ谷戸庭園 9) 向島百花園

庭園を巡るだけでなく近辺の名所、旧蹟、神社、仏閣を訪ね歴史を学び、安くて美味しい昼飯処を見つけておしゃべりに花を咲かすのも楽しみのひとつ。今回は1) 清澄庭園、2) 旧岩崎邸庭園、3) 小石川後楽園の3庭園をご案内します。

■清澄庭園

明治を代表する日本庭園。江戸享保年間に関宿藩主・久世大和守の下屋敷となり、明治13年に三菱の創始者・岩崎弥太郎が大名屋敷跡に造園した回遊式林泉庭園。一説には江戸の豪商・紀伊国屋文左衛門の屋敷跡とも言われる。

伊豆や佐渡など各地から運ばれた数々の銘石の説明を聞くと、今更に三菱・岩崎家の財力に驚かされる。

池の向う側に見える涼亭は利用人数が何人でも3時間、5,500円と安い。



●ルート：東西線・門前仲町駅（大江戸線・門前仲町駅でもよいが不動尊までは300mくらい歩く）

↓
深川不動尊（元禄16年、成田山新勝寺のご本尊、不動明王の出張開帳を行ったのが起こり。江戸最大の不動尊でその両眼の違いに気付けば賢い。理由は札所で聞くこと）

↓
富岡八幡宮（寛永4年の創建。毎月第一、二、三、五の日曜日に境内で開かれる骨董市も見たい。ここは勸進相撲の発祥地であることから記念の力士碑がある。境内には晩年を深川で過ごした江戸の測量家・伊能忠敬が測量に旅立つ前に必ず富岡八幡に参詣して安全祈願をしたと伝えられ、旅立つ姿の忠敬像がある）

↓
芭蕉稲荷神社（深川に住んでいたと言われる芭蕉の没後、芭蕉庵は武家屋敷となり滅失したが、芭蕉が愛好したと言われる石造りのカエルが大正時代に当地で発見され、地元の人々が芭蕉稲荷を作って祀ったのが起こり）

↓
清澄庭園（前述）

↓

深川めし「みやこ」（池波正太郎の鬼平犯科帳に登場する「鬼の平蔵」が好んで食べたと言われる深川めし。名物はアサリやネギ、油揚げの煮汁でコメを炊いた磯の香りが漂う、わっぱの深川めしセット。独特の味です。ぜひ一度ご賞味あれ！）大江戸線・森下駅



●歩行距離：約 4.5 km

■旧岩崎邸庭園

明治 29 年(1896)に英人建築家ジョサイアコンドルの手による三菱の財閥 3 代目総帥・岩崎久彌の本邸。

庭園は明治中期の半分以下の面積になっていて現在は庭園より写真の建物に関心が集まる。

壁材、タイルなど当時の技術の粋を集めて造られているのでガイドの説明が聞ける日の入館がお奨め。

建築当時は 15,000 坪の広さと 20 以上の建物があつたが今は写真の洋館と隣接する撞球場と和館の 3 棟のみである。



●ルート：J R 中央線・お茶の水駅



異国情緒あふれるニコライ堂（明治 24 年、ジョサイアコンドルの設計による日本最古で日本最大級のビザンチン建築のギリシャ正教の大聖堂。J R 線を跨ぎ向かい側の孔子を祀る湯島聖堂を結ぶアーチ跨線橋は 2 人の聖人を敬って聖橋

↓（ひじりばし）の名称がついている）

湯島聖堂（もとは不忍池湖畔にあったが徳川綱吉の時代、ここ昌平坂に移築され儒学者たちの学びの場として賑わい、明治維新後は筑波大学、御茶の水女子大学の前身があった。孔子を祀る。）

↓

神田明神（約 1300 年の歴史を誇る。天平 2 年創建で平安中期の武将・平将門を祀る。2 代将軍・秀忠の時代に江戸の総鎮守社に定められた。奇数年の 5 月には江戸

↓ 三大祭の神田祭が行われる）

湯島天神（天皇 2 年（458）の創建。学問の神様として信仰が篤い菅原道真公を祀る。受験の季節には願掛け絵馬を献上する親子連れの行列が長々と続く。境内には

↓ 道真公縁の梅が約 300 本）

旧岩崎邸庭園（前述）



東大・三四郎池～赤門（赤門は文政 10 年（1827）加賀藩 13 代・前田斉泰が 11 代将軍・家斉の娘 溶姫の輿入れの際に当時の慣例に倣って建築した。大学内では最も古い建物で東大の象徴）



■小石川後樂園

水戸徳川家の上屋敷の庭園。

寛永 6 年（1629）水戸家初代藩主：順房が着手し 2 代・光圀が明の遺臣・朱瞬水の意見を採り入れて完成した円月橋、西湖堤など中国趣味豊かな回遊式築山泉水庭園。国の特別名勝・特別史跡となっている。

○飯処：小石川後楽園内の涵徳亭

味は抜群ではないが値段がなんと 650 円。（事前予約不可）

園内を眺めた後の食事もいいが、食べてからゆっくり歩くのもよい。



J R 総武線・水道橋または飯田橋駅

○歩行距離：約 7 km



旧岩崎邸の部屋



暖炉のある 1 階中央ホール。洋館は岩崎家の集まりや賓客を招いてのパーティーなどに使用された。

1 階は食堂や書斎、2 階には客室や集会場がある。



金唐紙の壁紙を用いた豪華な客室



イスラム風デザインの婦人客室



2 階ベランダのイオニア式装飾の列柱



陽光がたっぷりと入り込む明るいサンルーム



日本刺繍の美しい装飾



1 階ホールの暖炉



新盆の夜

樋口 稔



妻の遺影に向かって一人話し掛ける。巡り合いから走馬灯の様に 40 年の思い出が駆け巡る。

叔母さんの紹介で知り合ったのは僕が 27 歳、君は桐朋学園の 3 年生だった。以来よく双方の家で僕のリクエストに応じてピアノを弾いてもらった。CHOPIN、DEBUSSY、RAVEL SCHUMANN が多かったと思う。勝手な批評にも耳を傾けてくれた。



1975 年 結婚した年 多摩川で

仙台に転勤していた時、東北放送主催の“全東北ピアノコンクール”に 27 歳、2 児の母として、最年長で本選に出て、優勝は出来なかったけれど”奨励賞”を獲得した。

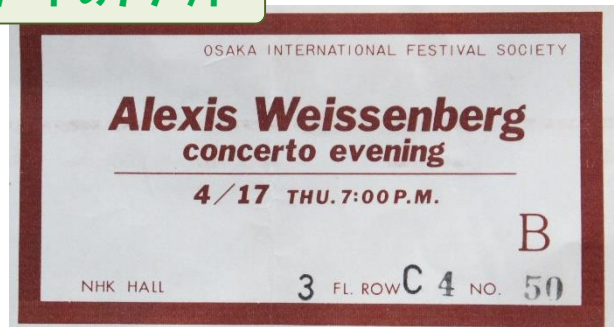
僕も自分の事の様に嬉しくて祝杯を挙げたね。

東京に戻ってから君はピアノより英語、スペイン語、フランス語に熱中した。

死の直前までフランス語のラジオ講座を聴いていたね。

おかげで海外旅行も二人で満喫できいろんな思い出がある。フランス語はとても難しく本場では通用しないと思うがカナダのケベックのホテルでのやり取りを目の当たりにした時僕は感心した。30 年近く前、初めて NEWYORK に行った時、国連ビルの前で「ここで働きたい」と呟いたね。今思うと君の憧れは緒方貞子さんだったかもしれない。

当時 二人で行った コンサートのチケット



マスタースキークラブ入会のきっかけも君

だった。神戸淡路大震災に単身赴任中に遭遇し、自身の生活はともかく仕事で苦勞し、本社ともぶつかり自分の価値観まで変った。

「あなた、定年後は長いよ、会社や学生時代の友達がいても小平に誰もいないじゃない。自分の住むコミュニティーを第一に考えたら。」その言葉で市のスキースクールの申込みをした。

お蔭で僕は SKI や GOLF で楽しく皆さんと過ごす事が出来ている。

君が居なくなって始めて、家庭を守ってくれた妻として母としての苦勞や家事の大変さが本当にわかった。

随分無理を言い、苦勞をかけた。全て本当に良くやってくれた。今改めて君のすばらしさに感謝している。

私の思い違い、知らず識らずに犯したる罪咎を赦して欲しい。……………

手にしているグラスの氷がチーンと大きな音を立てて溶けた。

「判っているわ」 君の声が聞こえた。

(急逝した経緯)

大変元気で健康診断でも全て理想的な数値と言われ、お産以外入院したことがない康子でしたが昨年12月2日にだるい、胃が痛いと言われ、かかりつけの医者に行きました。数日経って悪化し、昭和病院に行くよう紹介された。12月12日入院し13日夜に私が呼び出された。

気丈な康子は医師から詳しく状況を聞き、膵頭部癌、肝臓にも転移しステージ4bの末期癌で助からない事を知りました。長時間の手術を受けましたが、それは癌の治療でなく少しでも食べられる様に胃と胆管を空腸に直結し胆嚢も除去するものでした。通常ですと体力の回復を待って抗がん剤による化学療法が一般的ですがいずれも延命治療です。本人は苦しい抗がん剤の治療、病院での闘病生活は望まず、出来る限り家で過ごしたい、痛みがなく自然に逝きたいと在宅ホスピスケアを強く望みました。

幸いにも、在宅ホスピスケアの第一人者である山崎章夫先生と看護師チームが往診してくれ、24時間体制でフォローして下さいました。しかし3月1日を境に病状が一揆に悪化し、3月9日に家族に見守られて安らかに亡くなりました。



突然の死の宣告を受ける昨年12月13日の僅か20日前、11月24日六本木にて次女と膵臓がんに関与しているなんて全く想像もつかず、月末は箱根のワイン会にも2人で出席した



<以下 エリサベス・キューブラー・ロス がんの子供への手紙から>

地球に生まれてきて、与えられた宿題を全部済ませたら、もう、からだを脱ぎ捨ててもいいのよ。

からだはそこから蝶が飛び立つみたいに魂を包んでいる殻なの。

時がきたら、からだを手放してもいいわ。

そうしたら、痛さからも怖さや心配からも自由になるの。

神様のお家に帰っていく、とても綺麗な蝶の様に、自由に……………。

初滑り 上越国際

沢渡 保男



2014年1月7日から9日 初滑り上越国際スキー場にて

マスターズスキークラブの皆様こんにちは。今回会員ではない私が初めてマスターズ通信に載るかもしれませんが・・・？推薦いただいた幹事さんの萩野さんそして最終判断をしていただくのはもちろん森屋会長と思います？

書く段階になって返事をしたことにちょっと後悔しています。というのも文章を書く事がもともと苦手ですし、昨年も初滑り上越国際スキー場の感想文を書かれていらっしやるので同じことがらがあると思います。なのでちょっと違った感じになったかもしれません。宜しくお願い致します。

まず、自分が最近感じるのですが、皆様の前ではたいへん失礼ですが体力は年と共に落



ちますが技術は上がります。ほかの何かで体験されている方もいらっしやるかと思いますが。上達には個人差はありますが上達します楽しみながら続けることです。

さて初滑りですが。

私の初滑りは今回で2回目、現地参加の1月7日・8日で参加しました。

宿はゲレンデ前にあるホテルグリーンプラザ上越、北欧風のリゾートホテル館内は豪華な30mの吹き抜けロビーをはじめ、露天風呂付きの天然温泉大浴場等のパブリックも充実しゆっくりと楽しめます。なにしろ大きいです。

そしてゲレンデは上越国際スキー場。1千万㎡のビッグゲレンデで、見渡す限り何処までも続くゲレンデ。奥へ奥へと広がるその広いコース。ちょっと難点がありますが、コースは4つのエリアに分かれた広大なスノーリゾート。最大斜度38度を誇る大別当ゲレンデ。変化にとんだパノラマゲレンデ。初心者から楽しめる長峰ゲレンデ。降雪量も豊富でパウダースノーが楽しめる当間ゲレンデなど。多彩なコースが充実しているので、みんなでゲレンデ周りをするもよし、好きなコースをせめるもよし、景色を楽しむもよし、楽しみ方が色々楽し

めるゲレンデだと思います。



さあ、行きますよ！



・・とは言ったものの



あれ？あんなに早く行くの？



どうしよう？初滑りだし・・

まず初めに森屋会長より初滑りのご挨拶。その中でワックスの後処理について触れておりましたが、自分も最近の進化したワックスについてお話しします、以前は毎回ホットワックスをしていましたが、今はチューンナップに出して10日位はノーワックスです、また生塗りでも数日もつものもあります。興味がある方はお話ししてはいかがでしょうか。

次に体操が終わりグループごとに分かれてそれぞれゲレンデに向かいました。明日の天気予報では80パーセントよくない天気と聞いていたので、私たち相澤さんグループは、今日は天気が良いので、まず頂上に景色を見に行くことにしました。頂上の景色は最高でした、さあ滑りましょうと思ったらみんなで滑るには人数が多いのでグループを半分に分けて滑ることになり相澤さんから今回は初滑りなのでどんどん滑らせてくださいとアドバイスがありましたので、1本1本を長めに滑りました。お陰で自分の練習ができ、一日目が終了しました。

夜の宴会の時にちょっと発見したことI(女性のアイ)さんが、お酒を飲まれているところを見て私は今まで一度も見たり聴いたりしたことがなかったのでびっくりしました、後で本人に聞いたのですがワインは飲むそうです。

天気予報がズレたらしく8日も天気がよく昨日の人たちと一緒に一日楽しく過ごさせていただきました。あっとゆう間に2日間が過ぎました。

ホテルに帰る途中で女性のSさんがボーダーとぶつかったと話が有り、心配していたのですが本人言わく、どうせぶつかるならイケメンとぶつかりたかったと聞いたときは目が点になりました。大切なことですよね。でも怪我もなく良かったです。



貴方 おしるこ食べ過ぎよ 手なんか貸してあげないわ

しるこよりビール、ビール！

ここで私は皆さんとお別れして一足早く帰宅の用意をして19時ごろホテルを出たら雨でした。まだツアーは明日1日ありますこの雨が雪に変わるのを願いながらホテルをあとにした。滑り過ぎたのか帰宅途中で眠くなったのでサービスエリヤで睡眠を取り帰宅しました。

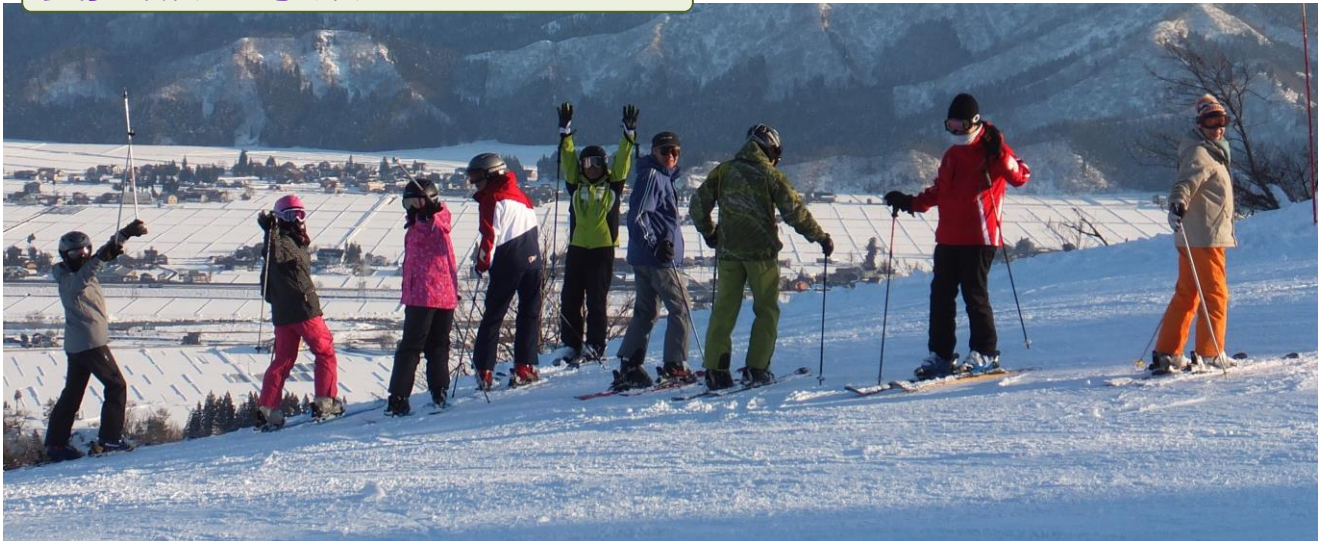
後で聞いたのですが8日夜の雨が夜遅くに雪に変わりゲレンデは新雪で見通しが悪くチョー初心者のような滑りになってしまった方もいらしたようです、刻々と変わるゲレンデ状況のなかで、うまく出来たり出来なかったりするので、スキーはやめられません？自分が感じたことばかり書いたため、ほかの方々のことまで気が回らず大変申し訳なく思います。

皆様、大変お世話になりました、またご一緒の時は宜しくお願い致します。



自分が美人だと思う人？ は〜い！？・・・

上越国際のマスコット 玄関でお見送り

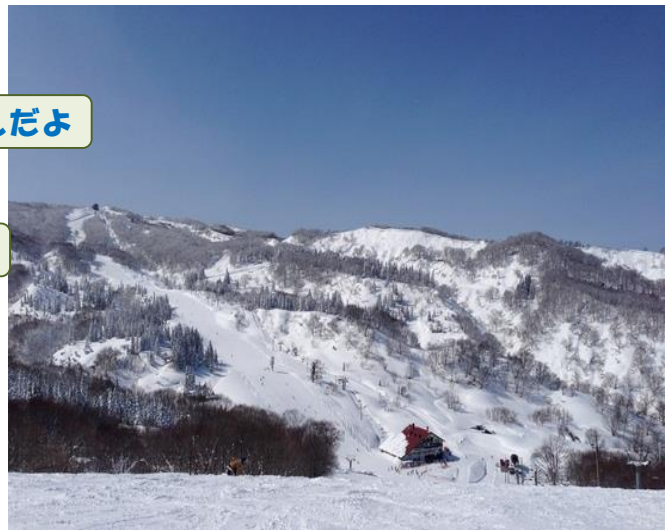


上越国際スキー場の奥地にある、当間ゲレンデ いい景色ですね。

沢渡さんが帰った翌日 そこで新雪を楽しんだよ

ゲレンデ前よりホテルグリーンプラザ上越

ホテルは広いが 部屋から乾燥室近く便利



オフシーズンもいいですね
グリーンシーズンもウォーターパークを中心とした上越国際プレイランドやテニス、パターゴルフ等のスポーツ施設が楽しめるそうです。

雪が解けるとゲレンデは 子供が喜ぶ 長〜い滑り台に



八方・五竜ツアー

小林 教男



2014 1月21日(火)～24日(金)

花小金井を定刻3時少し前に出発する。次々に懐かしい顔ぶれを集めて、バスは白馬に向かう。

途中も順調に進み予定通りに丸金旅館が見えてきた。

駐車場に入り、旅館の見た瞬間に、私の胸はいっぱいになり、危うく涙がでそうになった。この2年半の間に、わが身を襲った病魔との闘いが、次々と思い起こされたからだ。2度にわたる心筋梗塞の大手術で死線をやっとならした。4か月後には大腸がんが見つかり、開腹の上、30センチも結腸をきりとった、更に8か月後には肝臓に転移が見つかる。CTスキャンの結果を聞いて愕然とした。医者は静かに言った「8か所に転移が見られます」。

ガスって転んでも オレ起き上がるぞ ダルマ人生だ



丸金の玄関は お迎えのダルマだ



ステージ4で末期がんです。4か所以上の腫瘍の手

術はできません。さしあ

って有効な抗がん剤ありません」私は言葉を失ってしまいました。しばらくして「こんな時の多くの人は、どのようにしているんですか?」。やや間をおいて「そのままの人が多いです」「ホスピスですか」それからいろいろと調べて、ラジオ波焼灼術という治療を見つけて現在も続けています。転移した肝臓がんを焼いていくのですが、4か月ぐらいうると新しい所に再発してしまいます。

もう2度とここには戻ってこられない気がしていたので、旅館の玄関を見たときに胸がいっぱいになったのでしょう。例年は玄関の50メートル位手前でバスが止まり、荷物はそこから運んでいました。今回は玄関横づけにしてもらいました。体力の落ちている私にとっては、何よりのおもてなしでした。第一夜はみなそれぞれに温泉に入り、直ぐに飲む人、寝る人またスキー談義に花を咲かす人と様々でした。



2日目はいよいよ五竜での滑りです。曇り気味でしたが滑るのには問題がなさそうです。途中のバスの中では昨年の悪天候の事でもちきりでした。昨年の記録を見ると「2度目に乗ったゴンドラに、強風で揺られながら1時間も閉じ込められた。さらに山頂のレストランで待機すること3時間。

板がイイからって?オレ(小林)を囲んでくれて😊 いたくウレシイよ

でゴンドラでくだる」「レストランにパトロールの人が入ってきたときには、強風のために倒れそうになった」。。。。。

三班に分かれて滑走開始。しかしどうも安定して滑れない。滑り始めると2回も3回も転倒した。原因はスキー板を新調しことにあるようだ。3年ぐらいい前から皆がはき始めた、新

しいスキーに慣れないのと体力の衰えに原因がありそうだ。

12月に手術をしてその後の経過を、1月17日に聞きに行くと、癌マーカーの結果があまり良くない。病院の帰りに新宿のヴィクトリアで新しいスキーを買い求めることにした。「もうすぐこの世とおさらばになるかも知れないのに、新しいスキーに乗らずに終われるか。」と考えたからだ。



飲む時 食べる時 ワカイが・・(^0_0^)



その後の囲碁では 私は ジョット(〜)

今までだと、シーズンに2回か3回転ぶ位だったのに、連続して転倒したので疲れがたまってきた。しかし、新しいスキーの特徴を踏まえた指導のお蔭で、だんだんスムーズに滑れるようになってきた。

三日目は八方でグループごとにすべる。それぞれが満足にいくように滑れたようだ。夜はお楽しみの宴会を開く。この古くからの建物を残し、そこを宴会場として使用させていただける事に心から感謝しています。



昼と夜の違いは これです！😊

長野オリンピックに合わせて大改築をした時に、施工者はあの建物を取り壊して、もっと大きくして、收容人員を増やすようにしつこく提案してきたそうです。しかしあの建物は丸金の原点であり魂だと言って取り壊しに応じなかったそうです。これからは外国のスキーマーも増えてくると思います。和風建築の宴会場で、和風料理を味わって、昔からの日本を感じてもらえることとお思います。



オーナー この部屋いつまでも残して(▽)



ケルンでは もうバッチリ！(〜)o(〜)

最終日は満足のいくまで滑り、そばを食べて帰途につきました。

「吾滑る。ゆえに吾あり」の気概で一年でも長く滑るつもりです。いやはやととても素敵な4日間でした。謝謝。

2014「スキースクール」ツアー行事報告

乗越 皓司



日時 2014年2月3日～5日

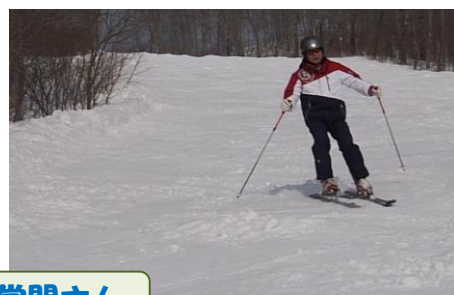
場所 尾瀬岩鞍スキー場（尾瀬岩鞍リゾートホテル泊）

参加人数 25名（会友4名）

全観車庫午前6時15分～花小金井7時に小型バスで全メンバー22名が出発し、尾瀬岩鞍スキー場に昨年とほぼ同時刻の午前10:30分に到着した。この時間帯ではホテルのチェックインが出来ない為、スキーウェアの着替えはロッカールームで行い、荷物を所定の場所に保管して11時30分にゲレンデ集合。現地参加の二人も加わって総勢24名が、森屋会長の開校挨拶ののち、あらかじめ役員側が班分けした案に従ってスクールを開始、班ごとに初日の滑りを終了して午後4時～5時頃ホテルへ引き上げた。なお、それぞれの班構成は、相澤班が飯島、小池、森屋（佐）、八木、塚田の5名、岸本班が河西、熊井、小林、野澤、藍原の5名、森屋班が臼田、當間、萩野、迫、竹内の5名、およびフリー班が茂野、関口、田村、乗越、原山、丸山の6名である（本人の希望と講師の判断、および二日目から参加する沢渡準指の意向により班編成の変更もありうる）。



初日は午後6時から夕食、その後9時から304ルームにて塚田さんが前回のツアーと今日撮影したビデオを鑑



臼田さん

當間さん

萩野さん

竹内さん



賞しながら各自の技術向上を図った。二日目（三日目も同様）は7時半朝食、9時スクール開始、午後6時から夕食



と懇親会（沢渡さんの参加に合わせて二日目にした）が行われ、終了後の9時から二次会とカラオケ大会に十数名が参加して大いに親睦を深めた。なお、カラオケ利用者は実費（約500円）を支払うのだが、個別徴収の煩雑さを避けるためツアー終了後の返金で調節する（後述）。

今年のスクールは空模様が毎日変化したため近年にないバラエティに富んだゲレンデコンディションとなった。すなわち、初日が温かい天候で春の様なゆるんだ雪質、一転寒波の押し寄せた二日目はガリガリの氷面にうっすら積もった雪で滑りやすくなり、そして二日間吹雪の続いた三日目が新雪を楽しめるという状況であり、今回のスクール参加者は本州三大ゲレンデの一つであるこのスキー場を存分に満足したと思われる。

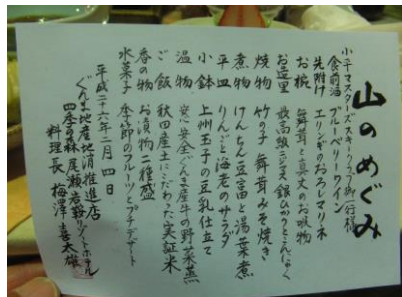
今年二回目の利用となった当ホテルは、ゲレンデへのアプローチが抜群、施設内容（風呂、部屋の広さ等）とサービスや食事の質・量も満足、料金レベルなども妥当なものであり、来シーズンも宿泊を希望するのでホテル側に予約可能な期日を提案してもらった。そのいくつかの日程を検討する際には、現状の二泊が良いか、八方ツアーのように前日午



岸本班

後発の 2.5 泊に変更するか、今後の判断材料となる。

最終日は予定より早く午後 2 時 45 分にホテルを出発し、花小金井には 6 時半頃、全観には 7 時頃に帰着した。今回当初の参加人数から判断して小型バスを利用したが、参加者が徐々に増加しバス収容人数ギリギリとなり、左右の荷物棚にスキー板を渡して通路の天井を塞ぐという狭苦しい状態となった。微妙な参加人数の時には、今後バスの大きさの変更が必要となるかもしれない。しかしながら、参加者の増加により当初予算に余裕が生じ、カラオケ参加者と不参加者に対して昨年出来なかった返金それぞれ 1000 円、1500 円支払われた。



今回のツアーは感想文を特定の方に依頼しなかったもので、以下の四つのエピソードを行事報告書に追加することで感想文としたい。

**おもてなし 山のめぐみ を
味わいながら 吞もう！**



エピソード 1 = “フリー班とゴンドラ同乗者との話題” : 退職後スキーシーズン中は自宅のある千葉県から尾瀬岩鞍に一人移住し、毎日ゲレンデに来て 100 日は滑っている加藤さんがその一人。「一緒に滑りませんか」と誘ったが、とてもお上手なので 3, 4 本滑って別れました。彼の活躍ぶりが披露されたのでその一端を紹介します。その 1 が片方の板を水平に裏返して持ち上げながら他方の足一本でスケートの真央ちゃんスタイルに滑る、その 2 が片方の膝をスキーのやり過ぎで痛めたため反対の足だけでこぼ斜面を高速で滑り降りる（リフトからの見物者の感嘆の声がたまらなく快感とのこと）。また、スキーシーズン以外にはテニスの



**何を話して笑っているのか
分からないけど 楽しそう！**

のコーチやサーキットなど、彼は体を動かすことの大好きな 60 男であり、春雪での滑りが楽しくなるワンポイントをレッスンしてくれました。もう一人は横浜からのグループで、わがクラブより高齢の 80 歳代が多数参加しており、偶然にも次の志賀高原ではホールズで同宿となるようです。



**ゲレンデの滑りとは一転
おしとやかな 淑女？**

メールでスキー愛好者を募って団体を作り随時ツアーを行っており、各地から参加するためバス利用ではなくて現地集合を原則としているとのことでした。

エピソード 2 = “ゴンドラ終点に置き去りにされたスクール受講者の怒り” : 初日の夕方、マイナス 12 度の寒空の下ゴンドラ終着駅での出来事です。H さんがトイレから帰ってきたら待っているはずの班の誰も



**最近アルコール量は減ったが
それでも 欠かせませんネ〜**

がいないので、先に滑って降りたと思って後を付けるが見つからなかった。担当講師と被害者の二人が懇親会をそっちのけにして、〈薄情者、そちらが悪い〉と大激論、終着駅での実際の出来事はもう少しいろいろなやり取りがあったよう

でしたが、私の不十分な印象では仲が良いから起こっ

た揉め事と見受けました。

エピソード3＝“親指の怪我、および高血圧のため大事を取ってホテルで休息”：

手袋をした親指がストックを持ちながら

どのように打撲傷を負うのか、

Hさん本人にもよく分からない

ようでしたが、絆創膏を貼ら

れて痛々しくはあっても大事

なく幸いでした。いくつもの

体調不良を克服して参加するTさんには頭が下がります

が、今回も無理をしない活動にはまた次につながるものと期待しています。参加者全員が元気にスクールを終えたことは大変良かったです。

エピソード4＝“早めに終了してホテルでワインを傾ける大人のスキー”：フリー班はガンガン滑ってさっさと休憩するので、他班からは“ガンガン休息組”とあだ名をつけられた。

最終日も他班より早く終了して、ホテルのロビーでお風呂上がりのリラックスした体をソファ

ーに沈めながらワイングラスを傾ける、“これぞ優雅な大人のスキーなり”と硬軟交えての

スキーツアーを満喫しました。さすがSさんのアイデアには感謝であり、八方の最終日にお

ける林檎屋とともに今後の定番となることでしょう。(幹事の原山さんはホテルとの交渉や会

計の仕事などが忙しくてゆっくりとグラスを傾ける時間が少なく、たいへんご苦労様でした。

昨年何もしないでいる小生にSさんからお叱りを受けたが、今年も同じようなことになりました。)



帰りの荷物置き場
本来は立派な夜の
カラオケルーム♪
欠かせませんネェ～



雪で霞む Gondola 乗り場
降り止まめ雪はない 滑りに 行こう！

帰りのバスは板が頭上に？
工夫して 何とか詰め込
み、けがないから 大丈夫！



2014 志賀ツアー行事報告

原山 伸之



日時 2014年2月25日(火)～28日(金)

場所 志賀高原スキー場(ホテルハウス志賀高原泊)

参加人数 24名(会員20名、会友4名)、キャンセル3名(小池、小林、當間)

志賀ツアー幹事である樋口さんが、家庭のご事情から不参加となり、森屋会長幹事のほか原山が代理幹事を努めることとなった。

樋口さんより引継ぎを受けた当初のバス乗車人数は、20名であったため小型バスでも行けるかと思っていたところ、Yさんや、Hさんの追加申込があり、中型バスへの変更を余儀なくされる。

ホテルに着いた夜 早速 中国の珍酒を賞味・・茂野さん、謝謝

当ツアー直前に実施した尾瀬岩鞍ツアーは、人数が二転三転して、結局22



名のバス利用者であったが、直前でのバス変更も困難である

ことから小型バス利用で、皆さんに窮屈な思いをさせてしまい、同じ轍を踏むわけにも行かないことから中型バスへ変更する。しかしながら、中型になると高速料金も含めて2万円強、料金が違うことになる。そうでなくとも志賀高原行きバス代は、他のツアー比割



高であることから、それを梃に全観バスと交渉、中型バス利用ながら小型バス料金据置きを粘り強く交渉し、何とか功を奏することとなった。

また今回は、小林さん、小池さん、當間さんのお三人方がそれぞれのご事情から1ヶ月以内のキャンセルとなり、申し訳ないながら取り決めにより申込金が全体会費に繰入れられることとなった。

宿舎のホテルとも、メール、FAX等で遣り取りし、女性2部屋、男性4部屋の当初割りであったが、うち1部屋の5人部屋が12畳部屋だったため16畳への変更申し入れをして、何とか当クラブの取り決め事項である1人当たり2.5畳を確保でき安堵する。



登っても はやる気持ちを 抑えて はい、集合



ここも 景色いいから はい、集合

1. 初日 (2月25日)

花小金井駅南口を午後3時丁度に出発、ルネこだいら、中央公民館、全観車庫で皆さんをピックアップの後、上信道横川SAに到着、軽めの夕食にて腹拵えをした後、志賀高原へ向け車を進めること約2時間、午後9時にホテルハウルス到着となる。各人の部屋ごとに分かれそれぞれ入浴、

懇親会等を開催。

2. 2日目 (2月26日)

ガンガン組は、奥志賀、焼額山方面での滑走、昼食は比較的リーズナブルである「サンクリストフ」で夜の懇親会に備えビールの飲み方？をリハーサル、食事は、麺類その他を選択。

夜は全体での懇親会を開催。同懇親会時におけるワイン飲み放題コースは、本来なら参加者全員が適用のところ、

上戸者と下戸者のテーブルを峻別することなどを条件に、飲み放題コース適用者は8人という裏ワザ？を駆使。お酒類はこの飲み放題コースのほか、乾杯のビール、会友Tさん・TUさん差入れの日本酒(1升)とな



そろそろ 滑りましょう



いいなぁ 呑める人は・・・



呑めなくても 注いであげるか・・・



ついでに私にも・・・

る。その日本酒も、こそこそ持ち込むのも、我がマスターズの名折れになりプライドが許さないことからフロントの支配人に、皇室御用達の特別酒があって、この持込み料を支払っても飲みたいのでと事前に申し出ると、「当ホテルでは持込を一切認めてないので、そんなことは聞いてくれるな、当ホテルから特別に購入したお酒とでも言っておいて欲しい」と言うではないか…。なかなか話の分かる？支配人（女将）である。

お陰で懇親会費は、当初予算よりかなり下回るリーズナブル料金であったため翌日も乾杯程度のビールを提供することとしたほか、いつも臨時徴収していた上戸（酒飲み）者の割増し金徴収は、他のツアーとの平仄を合わせ今回見送りとした。

しかしながら、上戸と下戸のバランスや不公平

感もあることから、来年以降の酒飲み者の割増金徴収については、役員会で再度ツアー全体における取り扱いを検討することとしている。

3. 3日目（2月27日）

初日から、御脚の踝付近を傷めていた会友の藍原さんが、本日帰京する石川車に便乗して帰京することとなった。早速フロントに出向き支配人と交渉し、1名1泊分を減額してもらい、同人に返還することが出来た。料金面では不幸中の幸いと思料したが、これは数年前同じ志賀高原ツアーで、お身内に不幸があって急遽帰京したMさんの先例を教訓にとった措置で、手前味噌ながら何とか今回は上手く対応できたと思考している。

滑走は、西館山、東館山、ジャイアント方面へ、M会長および正指のMさんも同道願って、当クラブ唯一の正指お2人方のご指導を受け、またMさんのデモも拝見出来、中身の濃い指導となった。

夜のミニ懇親会は、昨日の懇親会がリーズナブル料金に収まったため、乾杯程度のビールを提供する。その他、各人部屋ごとの飲み放スをチョイス、



私はこれで スキー止めました



私はこれがあるから スキー止められません



私もジャイアントを滑ったわ～

みんな～俺が滑るから見てろ～ 行くぞ～！

（皆）おお、大丈夫かな？



**あの～モシモシ・私失敗したわ ここは
コーヒーとパンが 美味しいんだって・・・**

いいじゃ～ないの～

だめよ～、だめ だめ

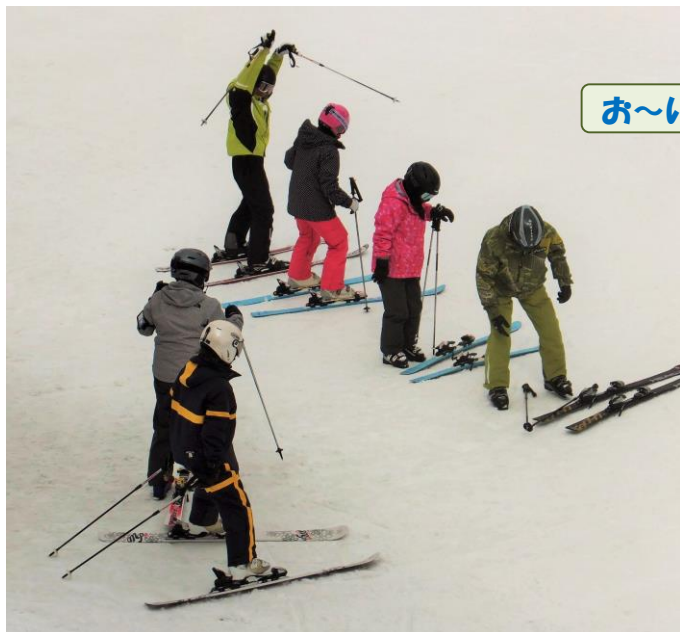
中には人数の勘定が出来なく？四捨五捨勘定の部屋もあったとか・・・。

4. 4日目 (2月28日)

昨日の大所帯から本日のガンガン組は一変してS氏、N氏と小生の3人と身軽？な仲間だけで滑ることになった。初日と同じような焼額山、奥志賀を目指して行っただが、生憎中腹以上はガスに包まれて見通しが悪い。各コースを一通り慎重に滑ったところで、リーズナブルなレストラン「サンクリストフ」にてコーヒータイトと洒落込む。



蓮池からの帰り このバー 馴れたわ



お〜い、オイラ先に行ってるぞ〜(東館山から)

は〜い、うちらは写真でも撮って・・



長野オリンピック記念の これ見てから

そのあと名残を惜しむように今シーズン最後？となる奥志賀コースを再度滑走、その足で奥志賀ゴンドラ前BSよりシャトルバスに乗り、焼額山ゴンドラ前BSで下車予定であったが、準指Aさん率いるA班も同乗されているのを見て心変わり？そのままの瀬BSまで来て下車、もう1回そこがスキーの止めどころの箴言通りの行動でした。



早めの帰館で、入浴、身支度用具類の整理も余裕を持って済ませ、フロントにて精算の後、同ホテルレストランにての昼食小宴会となりました。お陰で、ややルール違反の不謹慎ながら、残り物のワイン、焼酎等も上手く片付けることが出来ました。Sさん発注のワインが、何回か詰め替えられたようで・・・、各人の負担も缶ビール程度で済ませられました。皆様のご協力に感謝・・・。

帰路のバス車中にて、1人1千円の返金も出来、藍原さんにやや軽目のアクシデントがあったものの、全員無事めでたく帰京となりました。めでたし。以上(原山記)



奥志賀からは 疲れた〜 シャトルバスで



小平へは お迎えのバスで ルンルン♪





今シーズン久しぶりに妙高方面へのツアーが企画された。赤倉温泉である。2001年、相澤さんが幹事で、妙高高原IC近くのシルバー音羽に2.5泊で泊まった。到着する時、バスが宿の狭い駐車場の高く積もった雪の壁に突っ込んだ。女将さんは良かったが、トイレの匂いがちょっと気になった。赤倉と池の平、杉ノ原へ、日替わりで滑りに行った。25名の参加だった。当時は会員数も多かったが参加者も多かった。その3月には15名でフランスのバルトランスへ、クラブとして初めてヨーロッパアルプスを滑っている。前年の第10回目のバスツアーの安比高原では34名だった。当然、皆若く元気だった。ツアー数が少なかったから参加者も多かったかもしれない。今年は五つもツアーがあるからどうなるかな？

昨シーズン、上越市の竹内さんと塚田さんに、どこか新しいところを教えて欲しいと頼んだら、よく行っている野沢温泉と赤倉温泉へ下見に行き、大量の宿の資料などを送ってきてくれた。有り難かった。そして役員会で検討した結果、従来のツアーを減らさずに赤倉を加えた。今年限りになるかもしれないが、何とか催行人数を満たして欲しいと思っています。そこで赤倉のことを宣伝？いや関心を持っていただくために少し書かせていただきます。

田山花袋は、「昔、赤倉の温泉の宿主たちは11月末の冬に入ると里へ下りて行って、高田（上越市）の人がこれを経営していた。」と言っている。今回の宿は竹内さんの学友の友人が経営。海側の竹内さんの高田とその奥の山側の赤倉の繋がりには何かの縁を感じます。

私はそこには少し思い出があります。学生時代に親友と二人で夜行列車に乗り、田口駅（今の妙高高原駅）で降りた時の早朝の寒さには驚き、線路際で記念写真を撮った。学生服に薄いコートを羽織って真っ白な息をしている。チャレンジした丸山のゲレンデでは未熟なスキーでターンし切れず、林に突っ込み額に木の小枝で切り傷を作った。今は駐車場の銀座ゲレンデは日本初のナイター照明を点けたところだが、そこと熊堂でもナイターをした。夕食はハヤシライスなどで、おかずは常に野沢菜が付いて質素で不満だったが、元気に遅くまで滑ったものだった。



赤倉観光ホテル付近は斜度もなく二人並んで直滑降しながら下まで滑った。皮のブーツから飛びゆく新雪が気持ち良かった。そのホテルも直後に全焼。ヨーロッパまでスキーに行ったほどの愛好家の大倉喜八郎が、政府奨励の観光事業でそれを建てた時は（大正12年12月12日12時落成式）、宿泊代が8円、夕食代3円だったそうだ。当時は月給5円の時代。高嶺の花で皇族・華族や財閥のお金持ちのホテルだ。まだリフトなどないからスノーボートという上の方からモーターで電動ソリのようなものを引っ張り上げていたそうです。スキーヤー10人ほど乗れるが何度もひっくり返るから、高貴な彼らも自分で元に戻してまた乗っていたという。宮様スロープは大正時代に高松宮や秩父宮・久邇宮らが滑っていたのでその名前が付き、早稲田や明治の学生がカヤバの上で滑っていて大学スロープと付いたそうだ。

昭和22年に志賀の丸池に米軍人専用の木造リフトを進駐軍の命令により1か月半で完成させたのが日本初のリフトであるが、25年によりよく運輸省公認の第1号同じく木造支柱一般リフトが赤倉の現在の中央トリプルリフトにできた。それまでは大正初期から皇族や一流作家、画家、芸術家らも皆自分の足で登っていたのだから大変だったはず。今、私はリフトがなければスキーに行っていないだろう。そんな大変なスキーでも戦時中の17年には週末に岩原へ夜行の“国防スキー列車”が運行されるほどスキー熱はあったようだ。その年の暮れに時雨音羽が作詞した「♪山は白銀 朝日を浴びて 滑るスキーの風切る速さ 飛ぶは小雪か 舞い立つ霧か・・・♪」の歌もようやくリフトで歌えるようになったことだろう。妙高ツアーのあとに赤倉に行ったことがある。ホテルの駐車場に入る際に4駆で雪の壁には突っ込まなかったが、除雪車で引っ張り助けてもらった。本当に大雪だった。



それ以来の赤倉に行こうかな。

ちょうどツアーのある来年2015年は赤倉温泉開湯200年祭だという。

伊豆大島 幻の旅行記

乗越 皓司



“・・・巨大台風で秋の一泊旅行が中止”

9月25日発生 of 台風17号も29日には関東地方の東方海上に去り、好天続きの天気予報に接して10月6～7日の大島一泊旅行の実施が一安心となりました。ところが二日後の10月1日に台風18号の発生を知り嫌な予感、あわてて旅行会社に確かめると、島に渡るジェット船の運航可否が当日朝に決定される為それまではツアー実施の方向である、とのこと。結局10月3日に旅行会社から連絡がありツアー中止となりましたが、旅行予定日には今年一番の強烈台風におそわれ各地に大きな被害、私にとっても行くことが出来なかった旅の顛末記事を書かされる羽目となりました。

伊豆大島は仕事の関係で何回も訪れたことがあり、その素晴らしさから秋の一泊旅行に推薦、そして幹事役を任されました。6月の総会での説明と参加予定のアンケート、そして実際の参加者が男性6名、女性7名の計13名となりました。旅行会社のツアーに参加する形式で計画した行程内容は、初日がバスで5時間程の島内観光、三原山の頂上近くにあるホテルの温泉でリラックスした後夜の懇親会、自由に活動できる二日目が三原山のハイキング、波浮港までのサイクリング、そして元町付近のゆっくり観光、の3班に分かれて午後3時のジェット船出航まで別行動。旅行前には波浮港サイクリングの予行練習として、10月3日(金)に多摩湖自転車道の走行も計画されました。皆様お楽しみの一泊旅行が中止となりましたが、その一部を空想レポートに表し、来年度計画の参考にしたいと思います。



我が家の年中行事 正月二日の
初詣兼多摩湖往復ハイキング

1. お試しサイクリング

波浮港までのサイクリングに多少心配のある方もおられたので、その予行演習が計画された。10月3日(金)AM10:00 小平駅南口に各自愛用の自転車と食料・飲み物を持って集合し、のんびりと多摩湖自転車道をサイクリングする、途中で、あるいはお店で食事、もちろん食べなくても良い、との自由な計画です。このコースは、森屋会長が自宅から一周ジョギングしたりした場所でもあり、私も自宅からマウンテンバイクで多摩湖一周約30キロをノンストップ1時間半のトレーニングに時々使っています。夏の暑さが終わり、ちょうど気持ち良い気温、さわやかな風を受けて颯爽とペダルを踏む7名の集団は、すれ違う他のサイクリスト、行き交う散歩やジョギング中の人たちの注目を浴びていました。軽快にペダルを踏んで約30分、多摩湖(村山貯水池)の堤防に着き小休止、まだまだ元気な数名が多摩湖・狭山湖を一周して30分後に全員と合流、少し早い昼食となりました。紅葉にはまだ早いのですが、秋の訪れを堪能して帰路に着き、これで大島でのサイクリングに自信が出てきました。



秋の紅葉の頃が多摩湖一周の自転車道
一般の自動車道とセパレートされて安全

サイクリングは 想像の翼で



2. 初日、バスでの大島観光巡り、など

大島に渡るジェット船が竹芝桟橋 8 時 30 分発のため、6 時 46 分に西武新宿線小平発⇒高田馬場(地下鉄東西線)⇒日本橋(銀座線)⇒新橋(ゆりかもめ)⇒竹芝の標準コースのほか、JR 中央線や京王線など、各自が都合の良いルートで 30 分前までに待合室に集合した。波は穏やか、快適な航路を 1 時間 45 分で大島元町港に到着、下船後港に待っている観光バスに乗り込んで、さっそく島内観光に出発です。



える芝広場など、自然と動物との触れ合いがゆったりと楽しめました。続いて三原山登山道路を通過して三原山頂上口・歌の茶屋で昼食です。ここからは昭和 61 年 11 月噴火の際に流出した溶岩流や大迫力の噴火口も間近に見えますが、伊豆大島ジオパークたる本当の三原山を知るには二日目のハイキングを待ちましょう。最後に、あじさいレインボーラインを通過して都立大島公園に。ここは東京ドームの 1.5 倍の広さを持つ広大な椿園があって、園芸品種 450 種 3700 本や自生種のヤブツバキ 5000 本を有する日本最大のツバキ植物園です。毎年大勢の人でにぎわう 1 月～3 月の椿まつりの期間にはまだ早いですが、それでも他所では見ることはできない早生咲きの品種が十分に美しさを堪能させてくれました。元町港に帰る途中の泉津には椿の並木が 100m にわたって続き、道の左右から大木が重なり合うように道路を覆う姿から椿トンネルとして島民に親しまれています。



来年こそ 来てね～！待ってまあ～す

最初 15 分ほどで着いた椿花ガーデンは、5 万坪以上の広大な敷地にタイワンリスやウサギをほぼ自然状態で飼育、100 種以上のツバキの品種や変りガクアジサイを中心に季節の花々が咲き、伊豆半島や富士山も良く見

える。最初 15 分ほどで着いた椿花ガーデンは、5 万坪以上の広大な敷地にタイワンリスやウサギをほぼ自然状態で飼育、100 種以上のツバキの品種や変りガクアジサイを中心に季節の花々が咲き、伊豆半島や富士山も良く見



波浮の港まで サイクリング…これも幻

バスは出発地元町港から標高 500m にある宿泊予定の大島温泉ホテルへ直行、三原山を一望できる露天風呂はつとに有名です。懇親会は、串に刺した魚や野菜を椿油で揚げて食べる「椿フォンジュ」を奮発しました。まだまだ旅の楽しみは続きますが、それは実際に行くことが出来る来年以降に残しておきます。



元町浜の湯 男女混浴で茜色の景色を…これも幻

バスは出発地元町港から標高 500m にある宿泊予定の大島温泉ホテルへ直行、三原山を一望できる露天風呂はつとに有名です。懇親会は、串に刺した魚や野菜を椿油で揚げて食べる「椿フォンジュ」を奮発しました。まだまだ旅の楽しみは続きますが、それは実際に行くことが出来る来年以降に残しておきます。

2015年 マスターズスキークラブ 行事予定 (1)

ツアー名  項目	ツアーNo1 スクール 今年はここがスクール 完備したリゾートホテル 玄関から楽々スキー 都体協の助成金対象連盟事業 となりましたが内容は同じ その ため連盟会員60才～OK 上越国際	ツアーNo2 八方ツアー 五竜47にも行きます 雪 質最高の時期！ ルンからの眺め最高 長い距離をのんびり滑ろう ホテルは長～いお付き合い 格式高い部屋で宴会を！ 八方・五竜	ツアーNo3 岩鞍ツアー 岩鞍でナマクラにならぬよ う縦横無尽にフリーで滑ろ う！ 温泉付きリゾートホテル 滑って、浸かって、歌って 尾瀬岩鞍
 日程 集合場所は 全観・中央公民館 ルネこだいら・花小金井駅	1月6日(火)朝発 ～8日(木) 2泊3日 全観→花小金井 朝6時15分～花小金井7時	1月20日(火)午後発 ～23日(金) 2. 5泊4日 花小金井→全観 午後3時発～全観3時45分	2月2日(月)朝発 ～4日(水) 2泊3日 全観→花小金井 朝6時15分～花小金井7時
 スキー場 宿 電話	上越国際スキー場 ホテル グリーンプラザ上越 TEL 025-782-1030	八方・五竜スキー場 丸金旅館 TEL 0261-72-2114	尾瀬岩鞍スキー場 尾瀬岩鞍リゾートホテル TEL 0278-58-7131
会員参加費 会友は+1,000円 募集人数(最少～最大)	¥40,000(会友も同じ) 3日間リフト券込み！！ 15～20名	¥40,500 リフト券別 13～20名	70歳以上 ¥41,500 55～69歳 ¥43,000 リフト券込み(上記はこの差です) 18～22名
申込み締切り日	12/5 締切り	12/5 締切り	12/5 締切り
申込みは同封葉書	12／10日迄に連絡ない場合、予定通り実施します		
問い合わせは幹事へ	熊井・萩野:042-323-1883 hagino@msd.biglobe.ne.jp	喜多・和合:042-332-5045 waiwagoh@docomo.ne.jp	乗越・原山042-461-2059 nobu19@zb3.so-net.ne.jp
予約金は5,000円 ●振込みは必ずツアーNo と 実施日を記入 ●忘年会で手渡しする場 合、封筒に入れ上記十名前 と合計金額を記入	12/15迄に振込むか12/10の忘年会で手渡し 残金はツアー当日徴収 郵便振込 口座番号 00170-3-397677		
参加者が最少人数を下回った場合、参加者と相談(費用増える可能性あり)			

- ★ 各自スキー傷害保険契約期限を確認し、会友も同様に必ず加入しておいて下さい。
- ★ 予約金振込はツアー決定(12/10)後、必ずツアーNoとツアー月日を記入して下さい。
- ★ キャンセルがツアーの1か月以上前なら予約金は返金されます。
- ★ 集合場所のリボンは全観:青、中央公民館:白、ルネこだいら:赤柄、花小金井:ピンク

- バス代の高騰でバス会社の計3社から見積もりを取りました。中型になる場合、集合場所の変更の可能性があります。その場合は参加希望者に連絡(相談)します。
- 今年は赤倉温泉が増えましたが来年についてはツアー数など含めて未定です。参加数などの結果を参考にあらためて検討していくことになると思います。

2015年 マスターズスキークラブ 行事予定 (2)

ツアー名  項目	ツアーNo4 志賀ツアー <u>スキーの定番 志賀！</u> <u>何度行っても飽きません</u> 丸池から奥志賀まで行こう ホテルの豊富なバイキング料 理は食べ過ぎに注意 志賀高原	ツアーNo5 赤倉ツアー <u>新企画 赤倉！</u> <u>多彩なゲレンデと良い温泉</u> ホテルはゴンドラの前 竹内さん利用の宿です ぜひ行きましょう！ 赤倉温泉	クラブ恒例の忘年会 日時:12月10日(水)5時半 場所:割烹「一龍」 042-349-1361 一橋学園駅南側踏切渡って 1分(自衛隊駐屯地向かい) 会費:酒飲む人 5,500円 酒飲まない人 4,500円 担当:原山 (090-9951-1226) 申し込みは同封葉書で この時に各ツアーの 申込金の手渡しOK
 日程 集合場所は 全観・中央公民館 ルネこだいら・花小金井駅	2月17日(火)午後発 ～20日(金) 2. 5泊4日 花小金井→全観 午後3時発～全観3時45分	3月1日(日)午後発 ～3月4日(水) 2. 5泊4日 花小金井→全観 午後3時発～全観3時45分	小平スキー連盟行事案内 ①スキーフェスタ 平成27年3月14日(土) ～15日(日) ホテル 苗場プリンスホテル(予定)
スキー場  宿 電話	志賀一の瀬スキー場 ホウルス志賀高原 TEL 0269-34-3355	赤倉温泉スキー場 新赤倉館 TEL 0255-87-3111	一般ツアーの他、希望により スクール、ポールのお試し等 同時に市民大会もやります
会員参加費 会友は+1,000円 募集人数(最少～最大)	¥35,000 現地参加は一泊8,000円 リフト券別 15～20名	¥45,000 2日間リフト券込み！ 15～20名	詳細は1/20号の市報にて
申込み締切り日 申込みは同封葉書	12/5 締切り	12/5 締切り	②技術選 平成27年3月21日(土)
問い合わせは幹事へ 予約金は5,000円 ●振込みは必ずツアーNo と 実施日を記入 ●忘年会で手渡しする場 合、封筒に入れ上記+名前 と合計金額を記入	森屋・樋口:042-343-0106 higuchim@jcom.home.ne.jp	乗越・原山042-461-2059 nobu19@zb3.so-net.ne.jp	③プライズ検定 平成27年3月22日(日)
	予約金振込と手渡し 残金左ページと同じ 郵便振込 口座番号 00170-3-397677		
参加者が最少人数を下回った場合、参加者と相談(費用増える可能性あり)			
			②③共に場所は 菅平高原スキー場 ホテル未定

一編集後記一 この編集をするとき、小林さんからいただいたメールを掲載の了解いただきましたので紹介します。「一昨日は、笑いヨガの講習会に行ってきました。作り笑いでも、笑っていると、免疫力が高まり癌の治療に(ほかの病気でも)効果が抜群だそうです。日本でも昔から、(笑う門には福来る)といわれていました。笑い、ヨガはインドの医師が始めたものですが、世界中に広まっています。日本でもあちら、こちらの公園などで、行われています。村上 春樹のアンダーグラウンドという本を読み始めています。オームの被害者の声をまとめたものです。癌になったの闘病も大変ですが、このように、全くの偶然そこに居合わせたというだけで、死亡したり、後遺症に苦しんだりしている人もいることに不条理をかんじます。」10/23のメールです。その前の10/7のメールでは「8月初めに、6回目のラジオ波の手術を受けました。一週間後の腫瘍のマーカー結果が思わしくなことがわかりました。8月18日から一週間入院しながら、新しい分子標的薬の点滴を始めました。4種類の薬を6時間かけての点滴でした。多くの人が副作用で苦しむので、服用後の経過を慎重に見極めているそうです。4種類の中の一つに、アバステンという薬がありますが、1割負担で1万5千円(薬価15万円)という高価なものを2週間に1回ずつ点滴しています。現在までに4回の点滴をうけました。今のところは幸いなことに副作用は出ていません。アバステンは、新薬で昨年の6月から保険適用になったそうです。保険適用でなければ一か月10万円もかかるのでとても利用できなかったと思います。今のところは、体調と相談して、歩いたり泳いだりしています。」10月中旬から寄稿文のチェックやデータの写真を選択しながら、当時と今を思いながらの編集でした。(森屋)

忘年会 総会・懇親会 写真

小川顧問退任 感謝の品 贈呈 ありがとうございました



記念の時計に添えた



関口さんの感謝の絵手紙



第26回
総会・懇親会



小林さんの挨拶
聞き惚れて・・・料理お預け！



あう～ 結構
いい料理じゃない～



そうなのよ 料理やお
酒 安く仕入れているの もうタイヘン



幹事さん いつも
ご苦労様です
頭下がります



終了時現れた

野方さん
イヨ！元氣？



去年の忘年会

タイマーで撮りますよ
目を閉じないで・・・って